

大切な着物

一番いいのは着ること。

だけど、その前に

自分でできる、セルフ点検

でも、そこにはいくつものハードルが！？

1. 箆笥の前に立つ！！
2. 覚悟を決める！（時間をつくる）
3. とりあえず一段の引き出しをあける
4. 一枚ずつ取り出して並べ調べる

1～3まで出来ただけでも凄いこと！！

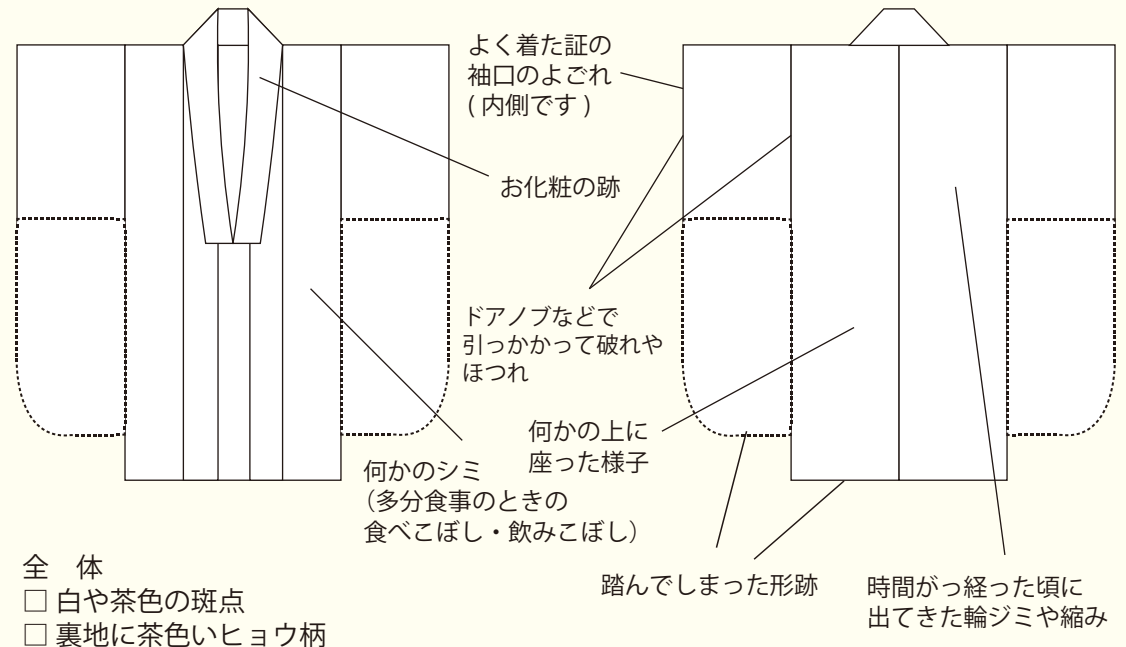
4まで進んだらもうちょっとです

↓↓↓

ざっくりと見るポイント！ 10選

1. たとう紙が変色していないか確認
 2. なかにある着物がクシャッと偏っていないか
 3. パッと見たとき白い斑点や茶色い斑点がないか
 4. 袖に何かついていないか↑再チェック
 5. 二つ折りの着物を広げる↑再チェック
 6. 衿元のところにスジの様になっていないか
 7. 折り目を戻して、左右半分ずつ着物をめくり↑再チェック
 8. きもの本体の左右をめくってみて、たとう紙に変色はないか確認
広げて見る時は右上のよくあるパターン図をご参考に check
 9. 直射日光があたらないように、30分くらい放置
 10. 箆笥の引き出しも少し開けたままに（除湿するとなお良し）
- 1～9のうち気になるところがあったらすぐ伊と錦へ
早いほど、しみ抜きやお手入れにかかる料金が安価で済む傾向に！

よくあるパターン（図）



しみ抜き・着物のクリーニング・寸法直し

色無地の染め替えなどお気軽にご相談ください

伊と錦
ITO NIKI

☎ 0836-34-2450

着物が良いなと思う点の一つは
「解いて仕立て直し」ができること！

サイズを変更したり、裏地の交換をしたり
きものが甦ってくるイメージになりますよ！

→ お申し込みは簡単です
まずはお電話（0836-34-2450）
候補の着物を店舗へお持ちください。
出張もしています！お問い合わせください

これはお金をかけてまで
お手入れをした方がいい？
と悩んでおられる方は、
【仕分けのサービス】を
ご利用ください

どうしても集中したいとき、どんなことをしていますか？
わたしの場合は、昼間の伊と錦は意外と交通量が多く、集中した時間とりにくいので、真夜中の静かな時間をつかっています
つい先日のこと、夕食を済ませて少しほっとしてから締め切りのものや模様替えもあって伊と錦へ。開店するわけではないので一部を照らすために電気をつけるのですが、蛍光灯ではなくてスポットライト（最弱）を点けていました（LED なので節電です笑）
事務室でパソコンを立ち上げ、作業開始。あいまに着物や帯の配置換え。4 時間くらい経った頃でしょうか、ちょっと疲れたから帰ろうかと腰を上げ、電気を消そうと思ったら、店内はわたしの中ではいつもと変わらない光景なのに、光に照らされた着物や帯の綺麗なこと！日中にみる雰囲気とはまた違って、柄の奥ゆきやほんのりとした立体感が艶めいて同じ商品でもまったく違うように見えます。ちょっと幽玄の世界にいるみたいな感覚です。今度真夜中の展示会をしてみようかなと思うくらい見事な光景でした（もし見たいという方はお知らせください）
朝になって店に来て、シャッターをあけると元あったように変わらない綺麗さや美しさがそこにはありますが、あれはなんだったんだろう？？というくらい感動に違いが。
立ち上げたパソコンで作業の続き。なんともクサイ台詞と申しますか、キャッチコピーと文章 ...（長い）朝のシャキッとした感覚で即修正したのでした。



装いに変化を

「すでに叶っている気持ちになる」人生いろいろあるので時間のある時にいろんな本を読みますが、よく見かける内容の要約はこんなこと。でもこれがなかなか難しいもの



小紋



紬

です。でももし、すぐできるとしたらキモノってとてもいいファッションです。もちろん人によって好みがあるので、華やかさや味わい深さ、格調など、求めるものは違っていても、着物にはきらきらした感じ、シュッと格好良い雰囲気（私はこれが大好きです）、上質感、優越感、誇り、など満たされる感触や、その場の雰囲気にぴったりな装い、受け継いだ思い出の品を時間を経ても身にまとうことができる幸せなどがあり、奥ゆかしさがあります。これにいつもの定番とは違った帯をあわせると、また新しい感覚に。これも着物の良いところ。「ちょっと特別な時間」にかえる装いでもあります。カジュアルな雰囲気から格調や品位のあるフォーマルな装いまで、着物の種類は多くあります。
「叶っている」とイメージしたとき、どんな着物が目に浮かびますか？どんな場所にいますか？着物のことならぜひお気軽にご相談ください

もうすぐ春なので

子どもさんがいらっしゃるご家庭は、卒業式や入学式のシーズンですね！着物は反物をお選びいただいてから、出来上がるまで結構お時間を要します。着物を解いてからのお仕立てになると、これに＋アルファのお時間が必要です。入学式や卒業式にはどんな着物をお召しになりますか？私どもがおすすめしているのは、ずばり！「色無地（無地の着物）」or「付下げ（訪問着の柄数をグッと減らした着物）」です。

ご本人が主役の時は、学生さんなら振袖、大人の方なら色留袖や訪問着で華やかさと品格ある姿、でも子どもさんが主役でしたら、ちょっと控えて式典の厳かさに敬意をもって色無地や付下げが素敵だなんて思います。色無地はできたら一つ紋



ぼかし染めの付下げ



色を染める前の白生地

が入っている方が着物の TPO で言えば正式です。

会場は恐らく寒いので羽織またはショールはご用意を。

色無地は、既製品のものより顔がぱっと明るく見える色で白生地を染めるのがおすすめです！「いま」お似合いの色に染めるのがポイントです。

もし先々で（20 年以上？経ってからと思います）やっぱり派手になってきたと思ったら、染めかえることができるのが色無地の良いところ。お持ちの着物も色を抜いて（漂白のイメージです）違う色に染め替えも可能です。

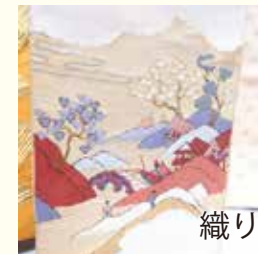
付下げもやっぱり「いま一番似合う」ものがおすすめです。

お客様によっては入学卒業式用に一着、二着とおつくりの方もいらっしゃいます（幼稚園・小学校・中学校・高校・大学×2 回ずつ式典がある）もちろんその都度お洋服を買われるのは良いこと。楽しみでもあります。でもお洋服の場合はそれにあわせて靴・バッグ・ジュエリー等も新しくコーディネートが必要ですが、きものはタンスから出せば大丈夫（お客様談）帯の雰囲気を変えると同じ着物には見えない使い方もできることや、流行が過激に変化することがないので本当にお勧めです。

名古屋帯の楽しさ

カジュアルなきもの姿に人気の名古屋。その帯には大きく分けて、織りのものと染めのものがあります。

織りのものは、生地にコシがあって結びやすく織り物ならではの美しさがあります。



染めの帯は織りのものに比べて柔らかく、繊細な感じで制作した人の個性や作風が現れています。季節の柄であったり、幾何学模様であったり、織り物より柄に「自由さ」があります。それでいて発色がとても綺麗です。昔お使いだった絵羽織（背に柄が入った羽織）を解いて名古屋帯にすることもできますよ。これが意外といい帯になります。もしお使いではない絵羽織をお持ちでしたら、帯の加工もできますのでぜひご検討ください。



お家にある布でアート
【ポストカード】

伊と錦へお越し頂きましたら
紙の種類がいくつかあります
生地の種類はあまりないですが
一緒にポストカードをつくって
みませんか？

※出てくる柄の部分で個性的な
カードが作れますよ



①



②



③



④

ここでカットした紙を
保存しておいたら、あとで
たくさん作ることもできます

作り方は意外と簡単です！まずA4の紙（コピー用紙だと薄すぎるので少し厚めの紙が
おすすめです）をご用意ください①。紙を縦にして端から10cmのところをチェック（上下）②して
カットします③。カットしたら半分に④



⑤



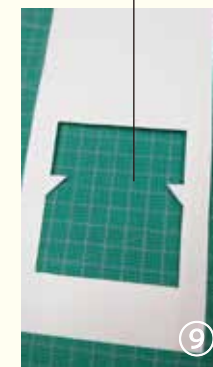
⑥



⑦



⑧



⑨

余った紙の方で、好きな形を描き⑤ カッターでカットします⑥ カットした紙を④の紙の上に置いて位置の
確認⑦して淵を絵取ります⑧。その線にそってカット⑨ お好みの生地をカットして⑩ 紙の内側全面に



⑩



⑪



⑫

スプレー糊をまんべんなく振ったら、
シワにならないようにそっと広げ紙で
挟みます⑪ 糊が乾いたら出来上がり！
裏面に「郵便はがき」と書いて宛先を
書くと⑫、通常のはがきとして発送も
できますよ（切手代84円ですみませう）
大切な誰かや懐かしい誰かに久しぶりに
文を送るのもよし、額に入れて玄関に
飾るのもよし。いろんな生地でためして、
日々を豊かに過ごすのもよし、おすすめです♪

